

II 伊佐市 石井地区むらづくり委員会

1 地区概要

石井地区は、伊佐市の北部に位置し、周囲を山々に囲まれ、川内川の支流山野川が集落の中央に流れている水田地帯である。

当地区は1自治会で構成されており、農業は、水稻を中心に園芸・果樹・畜産を取り入れた複合経営が行われている。

以前から、用排水路や山野川の清掃、藪払いのほか、花いっぱい活動等も地域ぐるみで取り組んでいる地区であり、平成22年度からは、「交流活動を通じて地域の活性化を図るむらづくり」のテーマのもと、共生・協働のむらづくり支援事業を活用するなどして、集落ぐるみの活動を行っている。

具体的な活動内容としては、集落内の子供から高齢者までが参加する世代間交流活動となる集落の景観づくりや女性部を中心とした料理教室・そば打ち体験の開催や伝統芸能「鎌踊り」の保存に取り組んでいるほか、広報紙による情報発信を行っている。

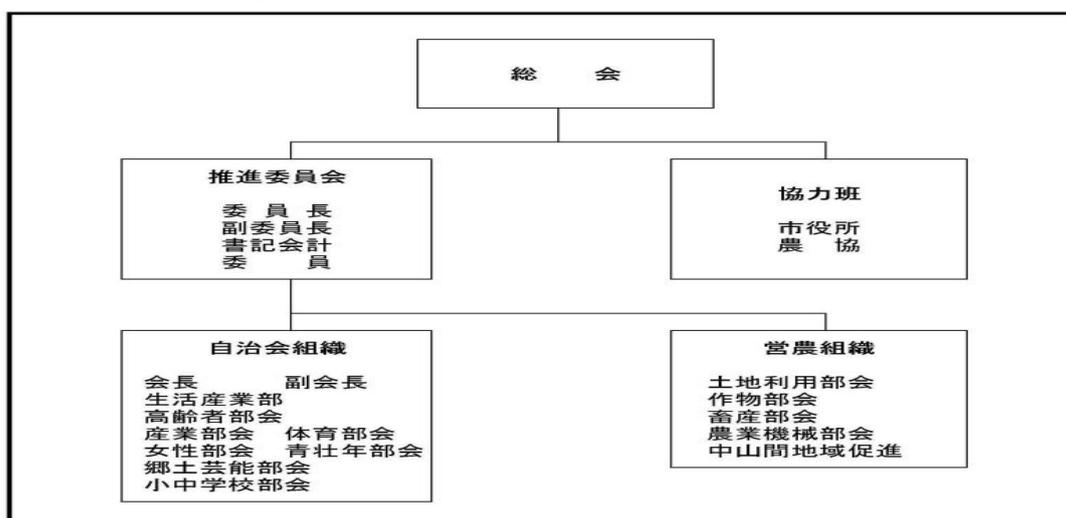
2 むらづくりの内容及び成果

(1) 農村集落の再生

若者の地区外への流出や少子高齢化が進行し、むらづくり活動が停滞しはじめた状況にあった。

その状況を改善して地域の活性化を図るため、役員を中心に検討を重ねた結果、それまで部会毎に取り組んでいた活動を他の部会と連携して行う体制とすることとし、平成22年度に「交流活動を通じて地域の活性化を図るむらづくり」を合言葉に、情報の共有化と協力体制の強化を図った。

【地区の組織体制図】



(2) 新たなむらづくりの形成

ア 自主財源づくりのための取組
自主財源づくりとして、そばの作付けを行い、収穫したそばを活用したイベント等も実施している。

イ 環境美化運動
高齢者部会，子ども部会や集落民が一体となり，運動場や通学路の花壇の整備を行っている。

ウ 女性部会の取組
高齢者部会や子供会等と連携し，料理教室を実施しているほか，農産物直売所での安定的な生産・販売体制等についての検討を進めている。

エ 広報紙の発行
むらづくり委員会が中心となり広報紙を年3回発行するなど積極的な情報発信を行っており，地区のイベント周知にも効果が表れている。



収穫した「そば」を使ったそば打ち



料理教室

(3) むらづくりの維持・発展

平成22年度からは，部会毎の打ち合わせに全部会長が参加するようにし，また，地区内の課題に対して全部会長による話し合いの場を設けることとしたほか，行事毎に役割分担を行うなど，部会を通じて地区民全員が情報を共有できる体制とした。

また，伝統芸能の「鎌踊り」は従来子ども禁制であったが，安全な用具を使用し，子どもの後継者育成に努めている。その他，集落外に住んでいる集落出身者の子どもや近隣の集落からも踊り手として参加してもらうことにより，若い世代への保存・継承を図っているところである。

3 今後のむらづくりの方向性

今後ともこれまでの活動をむらづくり委員会を中心として継続していくとともに，地域の主課題である農業従事者の高齢化と後継者不足等の課題に，地区民全員で話し合い活動を行い，近隣集落とともに取り組んでいくこととしている。

また，女性部を中心とした地元農産物の加工の取組や，地区外に住む出身者や近隣の集落の若い世代などを取り込んだ伝統芸能の保存活動等を継続して行うなど，地域活動を活性化させていく意向である。